

# 令和5年度 「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報



群馬県

## 例 言

1. 本書は、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録年度を起点とし、各年度における出来事や、保存修理、モニタリング結果、普及啓発及び調査研究等の事業の実施状況の概要を年度ごとに記録して冊子としてまとめることで、今後の世界遺産関係事業の実施のための参考とするとともに、本書を公開し、世界遺産を将来の世代に継承するための取組について広く周知することを目的として作成したものである。
2. 本書の編集は、富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町の協力のもと、群馬県地域創生部文化振興課が行った。

—〈表紙写真〉—

- (左上) 富岡製糸場 乾燥場藪扱場及び煙突の状況  
(右上) 田島弥平旧宅 桑場等整備に向けた全体基本設計追加調査（文献史料の調査）  
(左下) 高山社跡 母屋兼蚕室の基礎の解体状況  
(右下) 荒船風穴 新設したサイン

## 目 次

第1章 令和5年度の主な出来事	… 3
1. 行啓150周年記念イベント 記念講演会 &ピアノコンサート	… 4
2. 世界遺産トップ会議	… 5
第2章 構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況	… 6
1. 主な文化財保存事業の実施状況	… 7
2. 主な現状変更及びき損届一覧	… 10
3. 群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の実施状況	… 13
4. 各構成資産への来訪者数の推移	… 16
5. 来訪者 Web アンケートの結果	… 18
6. 周辺整備の状況	… 21
7. 群馬県及び各市町における基金の状況	… 23
8. 調査研究事業の実施状況	… 24
9. 富岡製糸場を中核とした文化観光拠点計画の状況	… 26
10. 日本遺産・ぐんま絹遺産	… 28
第3章 普及関連事業の実施状況	… 29
1. 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等研究奨励事業「絹ラボ」	… 30
2. 群馬県及び各市町における普及関連事業	… 32
3. 主な民間の活動	… 33
4. 群馬県及び各市町からの発行物一覧、群馬県提供写真利用許諾件数	… 35
第4章 群馬県立世界遺産センターの取組み	… 36
1. 群馬県立世界遺産センターの運営	… 37
2. 普及活動	… 38
3. 学校教育連携事業	… 39
4. 調査研究	… 40
県及び各市町の組織・体制	… 42
利用案内	… 43

# 第 1 章

## 令和 5 年度の主な出来事

## 1. 行啓150周年記念イベント 記念講演会&ピアノコンサート

1873（明治6）年6月24日、明治天皇の皇后陛下及び皇太后陛下が富岡製糸場を行啓された。操業開始間もない頃に、両宮がお揃いで行啓されたことから富岡製糸場が日本の近代化の先駆けとして期待され、女性の活躍の場として注目されていたことが伺える。2023年は、この行啓から150年の節目となるため、記念講演会とピアノコンサートを西置繭所多目的ホールで実施した。

講演会では、日本音楽史の専門家である塚原康子さん（東京藝術大学教授）を講師に迎え、明治6年の行啓とピアノの御前演奏や音楽との関わりについて講演していただいた。講演の中では洋風唱歌の浸透など明治期の動きを交えて解説をした。

富岡製糸場の建設と初期経営を指導したフランス人の生糸の専門家ポール・ブリュナの妻エミリは、作曲家・オルガン奏者の父ルフェビュール・ヴェリとオペラ歌手の母を持つ音楽一家に育った。行啓の折には、ブリュナ夫人がピアノを御前演奏し両宮のご旅情を慰め奉ったとの記録がある。このことから、演奏会では、ブリュナ夫人が富岡製糸場に持ち込んだものと同型のアップライトピアノやグランドピアノの2台を用いて、下山静香さん（桐生市出身のピアニスト）に、夫人の父が作曲した曲やショパンの曲を中心に演奏していただいた。



塚原 康子さん



下山 静香さん

## 2. 世界遺産トップ会議

令和5年12月26日に群馬県庁において、群馬県の山本一太知事と構成資産の所在する伊勢崎市の臂泰雄市長、藤岡市の新井雅博市長、富岡市の榎本義法市長、下仁田町の前秀男町長による「世界遺産トップ会議」を世界遺産登録後初めて開催した。

会議では、各構成資産の保存整備の現状と課題を共有し、県と4市町が連携して、保存整備等に関する国への要望、世界遺産登録10周年記念事業を実施することを確認した。また、知事と4市町長による会議を継続開催することについて合意し、包括的保存管理計画の改定についてはこの会議で協議することとなった。



世界遺産トップ会議の様子

## 第 2 章

### 構成資産の保全管理・調査研究等に関する状況

## 1. 主な文化財保存事業の実施状況

令和5年度に各構成資産で行われた主な文化財保存事業については以下のとおりである。

### (1) 富岡製糸場

繭扱場では、構造補強のための地盤アンカーを設置した。地盤アンカーの設置にあたっては、発掘調査の結果、土管等の遺構が発掘されたため、数回にわたり、打設箇所の変更を行った。

乾燥場南では、構造補強用の鉄骨の設置や屋根・既存壁などの補修や組み立て（一部）を行った。構造補強用の鉄骨については、乾燥機と乾燥機の間隔が狭いため、慎重に施工した。また、素屋根の基礎の解体も行った。

乾燥場西についても、構造補強用の鉄骨と補強基礎コンクリートを設置した。乾燥場西の構造補強用の鉄骨についても、乾燥場南と同様に、慎重に施工した。

また、富岡製糸場保存活用委員会を2回開催し、煙突の補強工法等の協議を行った。



乾燥場南の屋根の状況



構造補強鉄骨の状況

### (2) 田島弥平旧宅

伊勢崎市では、平成28年3月に策定した「史跡田島弥平旧宅整備基本計画」に基づき、保存整備及び活用を実施している。令和3年度からの継続事業として実施している桑場等整備に向けた全体基本設計追加調査では、史跡整備に資する有用な情報を得るため、学識経験者とともに田島家所蔵の文献史料の調査を実施した。



今後整備予定の桑場



調査の進捗を報告する会議の様子

### (3) 高山社跡

藤岡市では、平成25年3月に策定した「史跡高山社跡整備活用基本計画」に基づき、保存修理や整備活用を実施している。

令和5年度には、昨年度に引き続きの事業として、史跡高山社跡母屋兼蚕室修復・補強実施設計を行い、母屋兼蚕室の復原のための実施設計を策定した。令和5年度には、母屋兼蚕室の組み立てに向けた工事も開始している。

#### ①史跡高山社跡母屋兼蚕室修復・補強実施設計

母屋兼蚕室の修復・補強実施設計は、母屋兼蚕室の復原に向けた修復工事と耐震補強工事の基本方針を定めるものである。策定された実施設計は、解体調査や発掘調査で得られた新たな知見を反映させた設計となっている。業務に当たっては、特に屋根部周辺の復原や耐震補強について史跡高山社跡保存整備計画策定委員会の委員と検討を重ねながら行った。

令和4年度から令和5年度に引き続いて実施した。

#### ②母屋兼蚕室修復工事（第2期）

令和5年度は、高山社敷地内の西部に保管小屋（作業小屋）を追加で設置し、部材などの保管や木工事を行う空間の確保を行った。実施した工事は、木工事、石工事、屋根工事である。

保管小屋（作業小屋）では木工事として母屋兼蚕室の解体により取り外された建物部材の損傷部の修復を行っている。修復では既存材の損傷部のみを取り除き、新材（同じ樹種）で補修している。修復した箇所は垂木や破風板などである。

また、石工事として礎石・地覆石の解体を行い、解体した礎石・地覆石を保管小屋にて修復の上、保管した。解体に際して割れの確認された地覆石は接着し、再使用に備えた。損耗著しく再使用が困難な礎石・地覆石については、同じ種類の石材を用意し、既存と同様に仕上げた。

屋根工事では、過年度に取り外し保管している屋根瓦の洗浄・選別と穴あけを行った。



修復・補強実施設計 成果品



保管小屋 外観



木工事（垂木の修復（途中））

#### （４）荒船風穴

##### ①落石対策工事

令和3年度に作成した落石対策工事实施設計に基づき、優先度の高い1号～2号風穴にかけての南側岩塊部の3箇所落石対策工事を実施した。防護網工を1箇所、ロープ掛工を2箇所施したことで風穴貯蔵庫本体への落石防止と見学者への安全を確保するものとなっている。いずれも景観に配慮し、色調も黒色ベースのものとした。今後も史跡の保護と安全性を高めるため、優先度を見極めながら、計画的に落石対策を講じていく。

##### ②支障木伐採

1号風穴北側の眺望デッキ後ろ側のスギ3本及び周辺樹木の枝切りを実施した。日当たりが良くなったことに加え、冷風発生源である風穴の沢に広がる岩塊部の眺望が開け、冷風発生のメカニズムについて見学者への理解が深まるものと思われる。

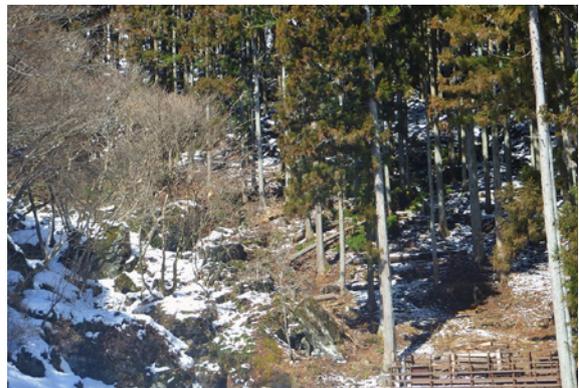
##### ③遺構・隣接地岩塊部の定点観測

遺構や隣接する岩塊を常時監視し異常を早急に感知するために、平成26年度から定点観測を実施している。令和5年度は5月、9月、1月の3回観測を行った。

- ・石積みに不具合が生じている場所や、今後施設に影響を与える可能性が高い隣接する岩塊等、26箇所をトータルステーションにより移動量を観測した。
- ・15箇所簡易クラックゲージ（デジタルノギス）により移動量を観測した。うち、3箇所は安全確保のため週1回の計測を実施している。
- ・3号風穴北側石積みの1箇所に設置している伸縮計での観測を行った。



落石対策工事



支障木伐採・枝切り

## 2. 主な現状変更及びき損届一覧

令和5年度 文化財保護法に基づく現状変更届一覧

※重要文化財は文化財保護法第43条の2第1項、史跡は同第125条による。

### 富岡製糸場

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	富岡市長	社宅79敷居補強	R 5.5.1	R 5.5.1	富岡市教育委員会 教育長	R 5.5.1～ R 5.5.10	R 5.5.10
2	富岡市長	社宅83窓枠補強	R 5.5.1	R 5.5.1	富岡市教育委員会 教育長	R 5.5.1～ R 5.5.10	R 5.5.10
3	富岡市長	見学者通路変更に伴う整備	R 5.5.1	R 5.5.1	富岡市教育委員会 教育長	R 5.5.1～ R 5.5.19	R 5.5.19
4	富岡市長	診療所北側通路整備	R 5.5.1	R 5.5.1	富岡市教育委員会 教育長	R 5.5.1～ R 5.5.19	R 5.5.19
5	富岡市長	乾燥場繭扱場保存整備に伴う仮囲い	R 5.5.15	R 5.5.15	富岡市教育委員会 教育長	R 5.5.15～ R 5.6.1	R 5.6.1
6	富岡市長	社宅73建具交換	R 5.7.18	R 5.7.18	富岡市教育委員会 教育長	R 5.7.18～ R 5.8.31	R 5.10.5
7	富岡市長	絵手紙展	R 5.7.26	R 5.7.26	富岡市教育委員会 教育長	R 5.7.29～ R 5.10.2	R 5.10.5
8	富岡市長	テレビドラマ撮影	R 5.8.10	R 5.8.10	富岡市教育委員会 教育長	R 5.8.10～ R 5.9.29	R 5.9.29
9	富岡市長	診療所雨漏り応急処置	R 5.8.28	R 5.8.28	富岡市教育委員会 教育長	R 5.8.28～ R 5.9.25	R 5.9.25
10	富岡市長	樹木（りんご）の引き起こし	R 5.8.18	R 5.8.18	富岡市教育委員会 教育長	R 5.8.18～ R 5.8.31	R 5.8.31
11	富岡市長	樹木（八重桜）の伐採	R 5.8.28	R 5.8.28	富岡市教育委員会 教育長	R 5.8.28～ R 5.9.5	R 5.9.5
12	富岡市長	揚返場工場応急的措置	R 5.9.29	R 5.9.29	富岡市教育委員会 教育長	R 5.10.20～ R 5.11.30	R 5.11.30
13	富岡市長	観光再始動事業のイベント開催	R 5.10.2	R 5.10.2	富岡市教育委員会 教育長	R 5.10.2～ R 5.10.17	R 5.10.18
14	富岡市長	社宅76安全手すり設置	R 6.2.14	R 6.2.14	富岡市教育委員会 教育長	R 6.2.14～ R 6.3.31	R 6.2.14
15	富岡市長	西置繭所広場の整備	R 6.3.27	R 6.3.27	富岡市教育委員会 教育長	R 6.3.27～ R 6.3.27	R 6.3.4

### 田島弥平旧宅

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	伊勢崎市長	桑場の調査工事に伴う一部解体	R 6.3.7	R 6.4.22	文化庁長官	R 6.4.22～ R 7.3.31	

## 高山社跡

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	藤岡市長	母屋兼蚕室解体工事・痕跡調査・発掘調査	R 3.4.7	R 3.5.21	文化庁長官	R 3.5.21～ R 6.3.31	R 6.6.11
2	藤岡市長	母屋兼蚕室修復工事	R 3.10.13	R 3.10.13	文化庁長官	R 5.12.15～ R 6.3.26	R 6.4.15

## 荒船風穴

No.	許可申請者	現状変更等の概要	申請日	許可年月日	許可権者	施工期間	終了届日
1	下仁田町長	落石対策工事（荒船風穴）	R 5.2.15	R 6.1.11	群馬県知事	R 5.6.23～ R 5.12.28	R 6.3.20
2	下仁田町長	支障木の伐採	R 5.1.23	R 5.1.24	群馬県知事	R 6.3.7～ R 6.3.7	R 6.3.20

令和5年度 文化財保護法に基づくき損届一覧

※重要文化財は文化財保護法第33条、史跡は同第120条による。

富岡製糸場

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
1	候門所、社宅86	屋根の一部破損	R 5.5.8	R 5.5.8	R 5.5.8	史跡・建造物
2	食堂の東側	樹木（りんご）の破損	R 5.8.15	R 5.8.15	R 5.8.18	史跡・建造物
3	繭扱場、乾燥人夫室	既存礎石の一部剥離	R 6.2.19	R 6.2.20	R 6.3.25	史跡
4	社宅72	木戸外れ	R 6.2.16	R 6.2.16	R 6.2.19	史跡・建造物
5	首長館	北側通路の一部破損	R 6.2.26	R 6.2.27	R 6.3.1	史跡・建造物
6	繰糸所	窓ガラスの落下	R 6.3.6	R 6.3.6	R 6.3.8	史跡・建造物

田島弥平旧宅

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
1	桑場	下屋柱のき損	R 5.10.31	R 5.10.31	R 5.11.1	史跡

高山社跡

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
		該当なし				

荒船風穴

No.	き損場所	き損の内容	き損の生じた日	き損の事実を知った日	き損届日	備考
		該当なし				

### 3. 群馬県世界遺産協議会及び各市町における有識者委員会の実施状況

群馬県世界遺産協議会は、県及び構成資産の所在する4市町、またオブザーバーとして「田島弥平旧宅」の緩衝地帯がかかっている埼玉県及び本庄市を構成員とし、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値を恒久的かつ確実に保存するため、関係者が相互連携を図りながら、包括的保存管理計画に定める基本方針に基づき、統一的な運用を図ることを目的として、平成24年5月に設置された。

また、世界遺産登録後も、顕著な普遍的価値を次世代に確実に継承するにあたり、学術的・専門的な指導助言を得るため、群馬県世界遺産専門委員会が平成27年2月10日に設置されている。

さらに、構成資産が所在する各市町では、世界遺産登録前後から、その価値を将来に継承するための保存修理や活用方法について、有識者による委員会を立ち上げ、議論を重ねてきた。

ここでは、各会議等の実施状況を簡潔にまとめる。

#### (1) 群馬県世界遺産協議会

令和5年 開催実績なし

#### (2) 群馬県世界遺産専門委員会

令和5年9月13日 第13回群馬県世界遺産専門委員会  
4資産の保存管理・修理の現状及び世界遺産センターの事業概要について報告  
令和4年度モニタリング調査結果、遺産影響評価マニュアルの策定、包括的保存管理計画の改定の方向性について協議

令和6年3月7日 第14回群馬県世界遺産専門委員会  
令和5年度来訪者WEBアンケートの結果について報告  
遺産影響評価マニュアルの策定及び世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の活用について協議

#### (3) 富岡市

令和5年7月6日 第1回富岡製糸場保存活用委員会<sup>(\*)</sup>  
煙突の保存修理、富岡製糸場整備活用計画（年次計画）見直しについて協議

令和5年10月30日 第2回富岡製糸場保存活用委員会  
煙突の保存修理について協議

令和5年11月26日 第6回富岡製糸場女性労働環境等研究委員会  
各委員からの中間報告

令和6年3月15日 第3回富岡製糸場保存活用委員会  
煙突の保存修理について協議

(\*) 富岡製糸場保存修理委員会、同整備活用計画実行委員会及び同インタープリテーション検討委員会を解散し、同保存活用委員会に統合

#### (4) 伊勢崎市

令和5年7月5日 田島弥平旧宅調査整備委員会第8回史料部会  
令和5年度事業について説明、調査内容等の情報共有

令和5年10月4日 田島弥平旧宅調査整備委員会第9回史料部会  
調査内容等の情報共有

令和5年11月21日 第24回田島弥平旧宅調査整備委員会  
史資料調査（文献、民具関係）、普及啓発等の報告  
桑場の整備、種蔵の整備、排水計画等について協議

令和6年1月29日 田島弥平旧宅調査整備委員会第10回史料部会  
調査内容等の情報共有

#### (5) 藤岡市

令和5年10月11日 第1回高山社跡保存整備計画策定委員会  
母屋兼蚕室発掘調査について報告  
母屋兼蚕室の修復工事の実施予定内容及び進捗について報告  
母屋兼蚕室の実施設計策定の方針について報告  
母屋兼蚕室の実施設計の図面について説明・報告  
関連古文書調査について報告  
母屋兼蚕室の実施設計案（耐震補強）について協議  
母屋兼蚕室の実施設計案（公開活用）について協議

令和6年3月13日 第2回高山社跡保存整備計画策定委員会  
母屋兼蚕室の修復工事の進捗について報告  
母屋兼蚕室の来年度の修復計画について報告  
母屋兼蚕室の耐震補強の検討の経過について報告  
母屋兼蚕室の実施設計について協議  
母屋兼蚕室の活用方法の今後の検討方針について協議

#### (6) 下仁田町

令和5年10月2日 第1回荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存活用計画策定委員会  
令和4年度での協議事項の修正について報告  
令和4年度未実施項目（保存管理、活用、整備、防災・防犯、運営体制、施策の実施計画の策定・実施、経過観察）についての協議

第1回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会

令和 5 年度事業について進捗状況の報告  
令和 6 年度事業について協議

令和 6 年 2 月 5 日 第 2 回荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存活用計画策定委員会  
第 1 回委員会での協議事項の修正について報告  
保存活用計画全体・今後の予定について協議

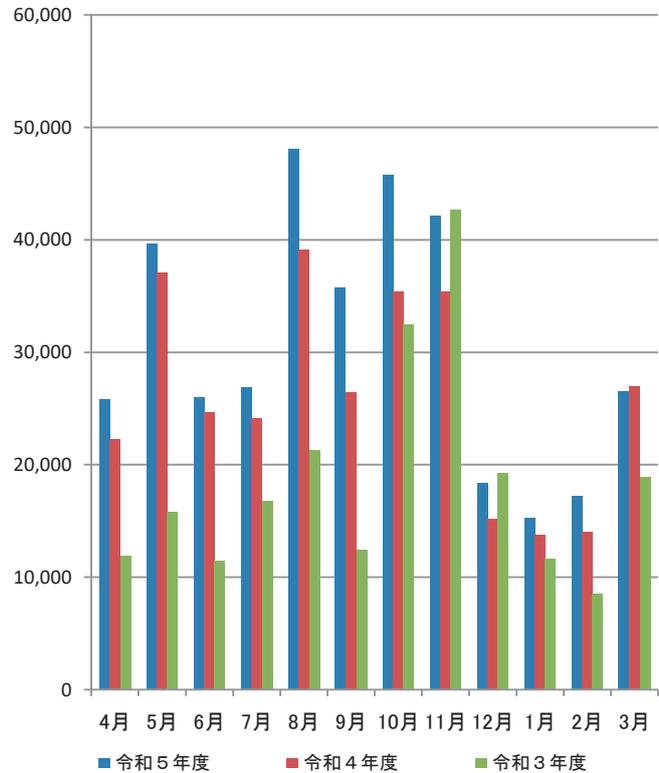
第 2 回史跡荒船風穴蚕種貯蔵所跡保存整備委員会  
令和 5 年度事業について報告  
令和 6 年度事業について協議

## 4. 各構成資産への来訪者数の推移

富岡製糸場

単位：人

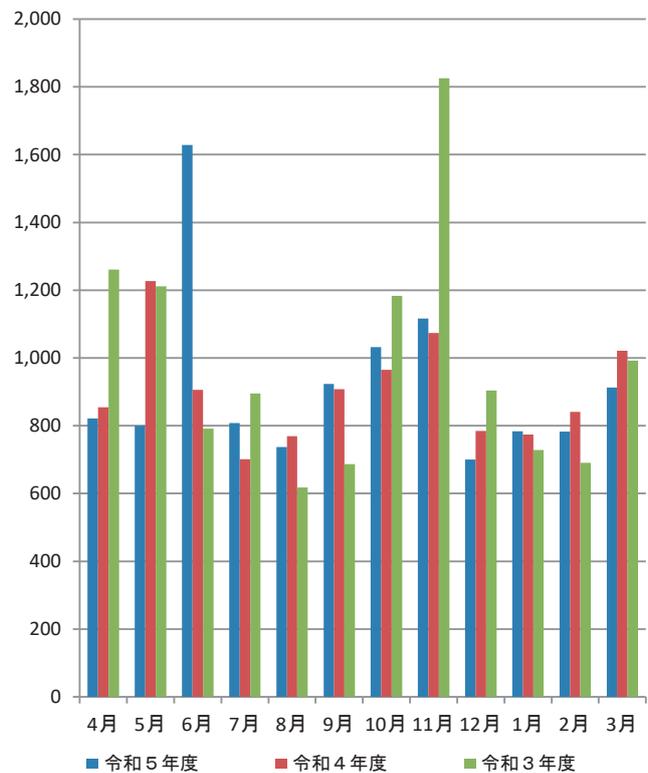
令和5年度		令和4年度		令和3年度	
4月	25,780	4月	22,299	4月	11,873
5月	39,634	5月	37,132	5月	15,846
6月	26,033	6月	24,666	6月	11,447
7月	26,864	7月	24,182	7月	16,792
8月	48,130	8月	39,111	8月	21,289
9月	35,783	9月	26,443	9月	12,470
10月	45,750	10月	35,455	10月	32,473
11月	42,148	11月	35,369	11月	42,640
12月	18,356	12月	15,213	12月	19,238
1月	15,267	1月	13,733	1月	11,645
2月	17,222	2月	14,012	2月	8,529
3月	26,499	3月	26,968	3月	18,936
合計	367,466	合計	314,583	合計	223,178



田島弥平旧宅

単位：人

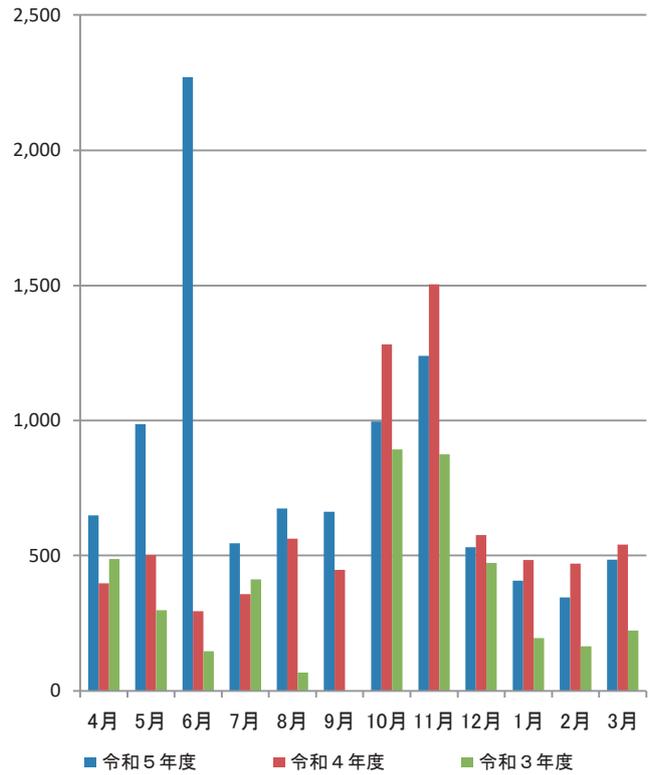
令和5年度		令和4年度		令和3年度	
4月	821	4月	854	4月	1,261
5月	800	5月	1,227	5月	1,211
6月	1,628	6月	906	6月	791
7月	808	7月	701	7月	895
8月	737	8月	769	8月	618
9月	923	9月	908	9月	687
10月	1,032	10月	965	10月	1,183
11月	1,116	11月	1,074	11月	1,825
12月	700	12月	785	12月	904
1月	784	1月	774	1月	728
2月	783	2月	841	2月	691
3月	913	3月	1,021	3月	992
合計	11,045	合計	10,825	合計	11,786



高山社跡

単位：人

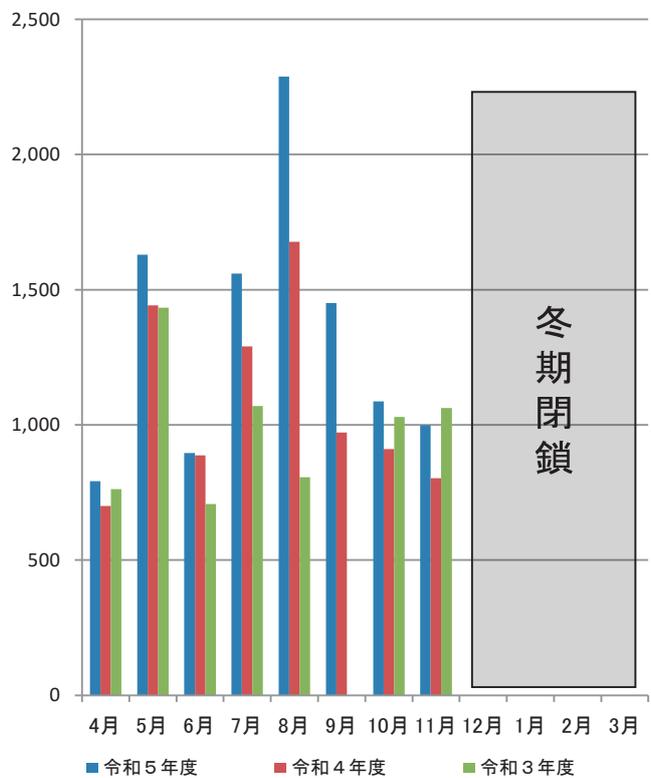
令和5年度		令和4年度		令和3年度	
4月	648	4月	397	4月	487
5月	986	5月	502	5月	298
6月	2,270	6月	294	6月	146
7月	546	7月	357	7月	412
8月	674	8月	563	8月	67
9月	662	9月	447	9月	0
10月	996	10月	1,282	10月	893
11月	1,240	11月	1,504	11月	874
12月	531	12月	576	12月	472
1月	407	1月	483	1月	195
2月	345	2月	470	2月	164
3月	485	3月	541	3月	222
合計	9,790	合計	7,416	合計	4,230



荒船風穴

単位：人

令和5年度		令和4年度		令和3年度	
4月	792	4月	700	4月	763
5月	1,630	5月	1,442	5月	1,434
6月	896	6月	887	6月	708
7月	1,560	7月	1,290	7月	1,070
8月	2,288	8月	1,677	8月	807
9月	1,451	9月	972	9月	0
10月	1,087	10月	911	10月	1,029
11月	999	11月	803	11月	1,063
12月		12月		12月	
1月		1月		1月	
2月		2月		2月	
3月		3月		3月	
合計	10,703	合計	8,682	合計	6,874



※12月～3月は冬期閉鎖

## 5. 来訪者 Web アンケートの結果

### (1) 実施概要

調査対象 世界遺産構成4資産、世界遺産センター（セカイト）の来訪者

調査方法 QRコードの配布・掲示による Web アンケート方式

調査項目 属性（性別、年齢、居住地）  
実態（同行者、訪問回数、訪問理由等）  
評価（満足度、再来訪意向、紹介意向等）

調査期間 令和5年7月29日～令和5年11月30日

回答数	富岡製糸場	2,117票
	田島弥平旧宅	22票
	高山社跡	126票
	荒船風穴	419票
	セカイト	95票
	【合計】	2,779票

### (2) 集計結果

#### ○来訪者層

- ・4資産では40～60歳代が主要な来訪者層となっており、50歳代が最も多い。
- ・来訪者の居住地は、富岡製糸場は県外が9割（群馬を除く関東圏で65.8%）を占める。3資産は県内が3割～6割弱を占める。

	1位	2位	3位	
富岡製糸場	東京都 22.1%	神奈川県 16.1%	埼玉県 11.2%	※5位群馬県 5.0%
田島弥平旧宅	群馬県 68.2%	埼玉県 9.1%	神奈川県 9.1%	
高山社跡	群馬県 50.8%	埼玉県 15.1%	東京都 8.7%	
荒船風穴	群馬県 33.4%	埼玉県 19.8%	東京都 17.9%	

- ・富岡製糸場は、6割以上が宿泊を伴う。富岡製糸場以外は日帰りが多い。
- ・同行者については「2～3人」、「家族」が多い。

### ○構成資産間の周遊状況

- ・それぞれの資産を単体で訪れる人が多い（約8割）。
- ・同じ旅行の中で、セカイト来訪者の約半数が富岡製糸場を訪問しているが、富岡製糸場の訪問者でセカイトを訪問する人は11.4%にとどまっている。
- ・訪れたことがない理由
  - 富岡製糸場……………「機会が無かった」（60.5%）
  - 田島弥平旧宅……「知らなかった」（61.7%）
  - 高山社跡……………「知らなかった」（65.3%）
  - 荒船風穴……………「知らなかった」（58.0%）
  - セカイト……………「知らなかった」（69.9%）

### ○興味・関心

- ・4資産ともに「世界遺産への興味・関心」が最も多く、5～8割程度。

### ○訪問回数

- ・1回目の訪問
  - 富岡製糸場 91.4%、田島弥平旧宅 63.6%、高山社跡 74.6%、荒船風穴 92.8%、セカイト 78.9%
- ・リピーター率
  - 富岡製糸場 8.6%、田島弥平旧宅 36.4%、高山社跡 25.4%、荒船風穴 7.1%、セカイト 21.1%

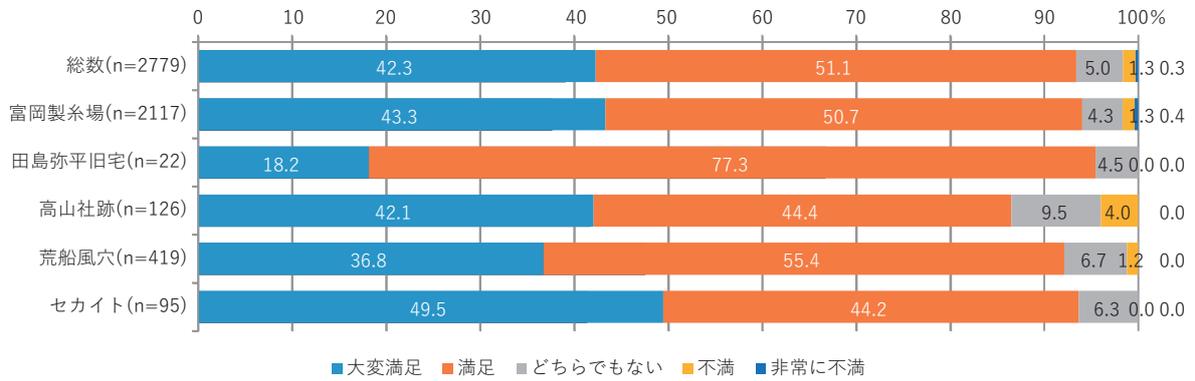
### ○滞在時間

- ・富岡製糸場 95.8分、田島弥平旧宅 39.5分、高山社跡 57.1分、荒船風穴 46.9分、セカイト 38.9分

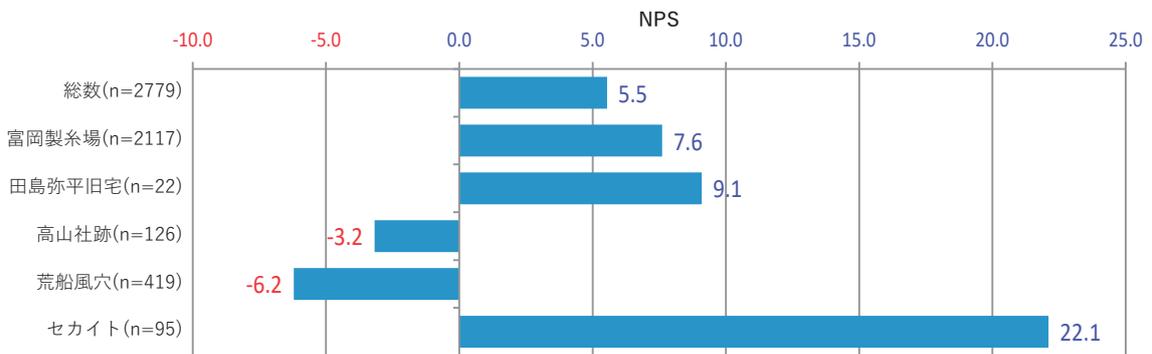
### ○評価

- ・総合的な満足度（「大変満足」と回答した人の割合）
  - 富岡製糸場 43.3%、田島弥平旧宅 18.2%、高山社跡 42.1%、荒船風穴 36.8%、セカイト 49.5%
- ・再来訪意向（「大変そう思う」と回答した人の割合）
  - 富岡製糸場 21.7%、田島弥平旧宅 22.7%、高山社跡 31.7%、荒船風穴 21.0%、セカイト 33.7%
- ・紹介意向（NPS）
  - 富岡製糸場 7.6、田島弥平旧宅 9.1、高山社跡 -3.2、荒船風穴 -6.2、セカイト 22.1

### 満足度（総合）



### 紹介意向（NPS）



## 6. 周辺整備の状況

世界遺産登録を機に、資産そのものの整備のみならず、緩衝地帯内では見学者のアクセスや利便性向上のための整備や修景等が並行して行われている。

### (1) 富岡製糸場

上州富岡駅から富岡製糸場内までの公衆無線 Wi-Fi のネットワーク名やパスワードが施設ごとに違っており、その都度、入力しなければならなかった。令和5年度事業では、上州富岡駅から富岡製糸場内までの公衆無線 Wi-Fi のネットワーク名やパスワードを統一し、見学者の利便性の向上を行った。



### (2) 田島弥平旧宅

田島弥平旧宅案内所の駐車場から建物入り口までの歩道を修繕して舗装した。



### (3) 高山社跡

令和元年度に実施した人道橋建設工事をもって予定されていた周辺整備事業は完了しており、令和5年度は整備事業は実施していない。

#### (4) 荒船風穴

令和3年度に作成したサイン整備実施設計に基づき、規格やデザインが統一されたサイン（看板）を設置した。第1・2駐車場に総合案内板を、見学者広場に解説標識を設置した。次年度以降も計画的に作製を進めていく。

宝くじ桜寄贈事業を利用し、荒船風穴隣接地のほか駐車場から荒船風穴までの町道沿いにサクラ（シダレザクラ、オオシマザクラ、ヤマザクラ、サトザクラ）を計50本植樹した。



## 7. 群馬県及び各市町における基金の状況

群馬県及び構成資産の所在する各市町では、主に世界遺産となった資産を将来の世代に引き継ぐための保存修理や周辺整備、活用を目的として基金を設置している。

### (1) 群馬県

「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとする「ぐんま絹遺産」の継承に資する事業に役立てるため、平成26年10月17日に「群馬県世界遺産・ぐんま絹遺産継承基金」を設置した。令和5年度には5,203,487円を受け入れ、1,000,000円を文化財保存事業に、1,700,000円をぐんま絹遺産保存活用総合支援事業に充当した。

令和6年3月31日時点 基金残高 17,750,394円

### (2) 富岡製糸場

世界遺産・国宝である富岡製糸場の文化遺産としての価値を適切に保存し、後世に引き継ぐとともに、富岡製糸場の保存活用及びその周辺整備事業の財源に充てるため平成20年9月24日に「富岡製糸場基金」を設置した。令和5年度には、36,457,627円を受け入れた。

令和6年3月31日時点 基金残高 180,243,281円

### (3) 田島弥平旧宅

田島弥平旧宅を活用する事業の財源に充てるため、平成26年12月16日に「伊勢崎市田島弥平旧宅活用基金」を設置した。令和5年度には507円を受け入れた。

令和6年3月31日時点 基金残高 25,199,506円

### (4) 荒船風穴

荒船風穴の保存活用及び今後の周辺整備事業の財源に充てるため、平成26年9月16日に「荒船風穴基金」を設置した。令和5年度には6,911,372円を受け入れ、3,800,000円を文化財調査保護事業に充当した。

令和6年3月31日時点 基金残高 36,631,031円

## 8. 調査研究事業の実施状況

### (1) 調査研究事業

事業名	事業主体	内容
セカイト研究会	群馬県立世界遺産センター	県及び市町村、関係機関の研究担当者が参加する研究会を実施し、4資産や絹産業に関わる調査研究について各種報告及び意見交換を行った。
セカイトアーカイブ	群馬県立世界遺産センター	県内に点在する養蚕や絹文化等に関する資料や書籍等の情報を収集しデータベースを構築した。
セカイト講座	群馬県立世界遺産センター	世界遺産センター職員による講座を3回実施した。第1回：南三社の生糸生産 第2回：養蚕業を支えた日本の風穴 第3回：4代目 田島弥平の蚕種製造
元従業員ネットワークづくり	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	世界遺産登録の際に、世界遺産委員会から女性労働者の労働環境について調査を進めるよう勧告を受けた。富岡製糸場における労働の記憶を後世に引き継ぐ仕組みをつくる必要があることから、系統だてて聞き取り調査が行えるようなシステムを構築するため、元従業員の方へ「元従業員のネットワーク」への参加を募り連絡名簿を作成した（参加募集は継続中）。
筑波大学松井研究室との共同研究	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	礎石及び煉瓦の劣化防止や建物内の環境調査など、保存科学的観点から、文化財建造物の保存環境について調査研究を行った。
女性労働環境等研究委員会	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	世界遺産登録の際に、世界遺産委員会から女性労働者の労働環境について調査を進めるよう勧告を受けた。富岡製糸場における女性労働者の技術移転（国際及び国内）及び労働環境等に関する専門的な調査研究を積極的に行い、成果を広く情報発信するため、「女性労働環境等研究委員会」を設置し、各委員において専門的な調査研究を行っている。令和5年3月に第2期の委員会を再開し、研究テーマの方向性を共有した。
富岡製糸場発掘調査等	富岡市教育委員会	富岡製糸場の保存整備等に伴い、保存目的の内容確認調査として発掘調査を行った。調査の結果、乾燥場では前身施設の遺構が検出されたほか、各箇所でも遺構が検出され、遺産の理解と適切な保護を図るための情報を得た。
田島弥平旧宅史資料調査	伊勢崎市歴史的建造物調査委員会	田島家所蔵の蚕種製造道具及び農具等を対象として、清掃、仮台帳への記入、写真撮影を行った。
田島弥平旧宅全体基本設計追加調査	伊勢崎市教育委員会	令和3年度からの継続事業。史跡整備に資する有用な情報を得るため、歴史学を専門とする学識経験者とともに田島家所蔵の文献史料の調査を行った。
荒船風穴定点観測	下仁田町教育委員会	（平成26年12月から継続して実施） ・トータルステーションは1箇所増やして26箇所を実施。TT14の移動が目立つため引き続き注視。 ・クラックゲージは（15箇所）は2号風穴と3号風穴の接合部について対応策の検討が必要。 ・伸縮計（1箇所）は冬季の凍結層膨張により上下動が見られた。

(2) 報告書等の刊行

書名	発行機関	発行日	内容
群馬県立世界遺産センター紀要	群馬県立世界遺産センター	R 6.3.31	<p>「富岡製糸場と絹産業遺産群」における調査研究の成果等についての研究紀要を発刊。第4号では、外部研究者及び世界遺産センターの職員が原稿を執筆、他にセカイト講演会の内容を掲載した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第4回セカイト講演会「天恵の霊地 荒船風穴～その機能と役割～」 <ul style="list-style-type: none"> <li>夏秋蚕を支えた日本の風穴</li> <li>風穴はおもしろい！ <ul style="list-style-type: none"> <li>－風穴のしくみと活用、日本と世界の風穴－</li> </ul> </li> <li>荒船風穴蚕種貯蔵所の真価</li> <li>まとめ</li> </ul> </li> <li>・日本生糸の行方 －アメリカでどう取り扱われたのか－</li> <li>・原富岡製糸所から組合製糸群馬社への技術移転</li> <li>・世界遺産「荒船風穴」の価値に見る日本の風穴</li> <li>・中国への養蚕・製糸技術の移転</li> <li>・田島弥平（4代目）による蚕種製造</li> <li>・富岡製糸場と工場法</li> <li>・群馬県立世界遺産センターにおける調査研究の動向</li> </ul>
富岡製糸場総合研究センター報告書	富岡市世界遺産観光部富岡製糸場総合研究センター	R 6.3.31	<p>調査研究を行い報告書を発行した。『令和5年度 富岡製糸場総合研究センター報告書』を発行。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富岡製糸場への皇族の視察と侍従の差遣について</li> <li>・TO式繰糸機とSO式繰糸機の比較</li> <li>・富岡製糸場と富岡の町－昭和20年代末を中心に－</li> </ul>
荒船風穴蚕種貯蔵所跡調査報告書14	下仁田町教育委員会	R 6.3.31	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和5年度事業について（荒船風穴落石対策工事・サイン整備工事・支障木伐採）</li> <li>・定点観測の結果</li> <li>・環境調査（温湿度）</li> </ul>

## 9. 富岡製糸場を中核とした文化観光拠点計画の状況

令和5年1月、富岡市が文化観光推進法に基づき策定した「富岡製糸場を中核とした文化観光拠点計画」が、文化庁と観光庁より認定された。群馬県は共同申請者として参画し、富岡製糸場以外の3資産や県内シルク関連施設への周遊促進などの広域連携が必要な取組を行う。

計画期間は、令和4年度から令和8年度までの5年間で、富岡製糸場の価値や魅力の磨き上げを行い、来訪者増を図り、地域活性化に繋げる。年間入場者数については、令和3年度の22万人から令和8年度は45万人を目指す。

### (1) 富岡市

令和5年度の主な事業は、製糸や繰糸機械について理解を深め、見学の満足度を上げてもらうことを目的として、国宝「繰糸所」展示コンテンツ磨き上げ事業に着手した。繭から生糸を作る製糸の作業や繰糸機械の動作の説明は、多くの人にとってあまり馴染みがなく、難しい印象を与えがちだが、誰にでも視覚的に分かりやすく、楽しみながら見てもらえるように、アニメーションの手法を用いて解説動画を作成した。

また、富岡市観光ホームページ及び富岡製糸場ページにおけるデザインのリニューアルも行った。閲覧者データの分析を行い、閲覧者が必要とする情報をトップ画面上やページの上位に表示されるよう配置を変更するとともに、スマートフォン・タブレットからのアクセスが多数を占めるといふ分析結果から、当該端末から閲覧しやすいデザインとなるよう組み換えを行った。また、新設コンテンツとして、旬な情報を習得できるよう、トピックスや特集記事の新設を図り、それにあわせて、CMSの修正も行った。

上記事業の他に以下の事業を実施した。

- ・富岡製糸場 Wi-Fi 整備事業
- ・インバウンド体制構築に向けた人材育成及びプロモーション検討
- ・富岡製糸場音声ガイド及び案内・説明板等に係る多言語整備事業
- ・新規ガイドツアー立上げ及び体制構築
- ・工女袴作成及び着用体験に係る体制構築事業
- ・富岡製糸場行き電動バスにおける案内力の向上
- ・誘客シナリオの製作
- ・上州富岡駅観光案内スペースのガイドツアーの待合及び出発場所としての整備

### (2) 群馬県

「富岡製糸場と絹産業遺産群」構成資産の展示強化・連携事業として企画展「富岡製糸場と絹産業遺産群」を開催した。企画展では、富岡製糸場と他の3資産について、ユネスコ世界遺産委員会における、世界遺産登録の「決議文」から世界遺産としての価値と各資産が果たした役割や連携、世界遺産を支えた人々について紹介した。調査研究によって判明した初公開となる史料等の展示も

行った。

また、富岡製糸場から他の3資産への周遊を促進するため、資産ごとに動画を製作した。製作にあたっては、資産ごとにテーマを設定し、田島弥平旧宅は、隣接する深谷市と連携し新一万円札の顔となる渋沢栄一と関連付け、高山社跡は、藤岡市の四季折々の美しい風景やレトロスポットの紹介、荒船風穴は、家族旅行をテーマとし、車で周辺の観光施設を巡る内容とした。完成した動画は群馬県公式 YouTube チャンネル [tsulunos](#) で配信した。

## 10. 日本遺産・ぐんま絹遺産

### (1) 日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」

平成27年4月に日本遺産に認定された。これは、絹産業に従事した女性の活躍の物語である。桐生市・甘楽町・中之条町・片品村に所在する計13件の構成文化財からストーリーが成り立っている。

令和5年度は、中之条町でイベントを実施したほか、文化庁主催のイベントへの出展など、県内外での普及啓発を行った。

また、徳島県藍住町をはじめとする日本遺産認定地域との連携による商品開発や展示協力など、他の自治体との連携にも取り組んだ。

### (2) ぐんま絹遺産

群馬県では、県内各地に残る絹に関連する遺産を再評価し、保存活用を図るため、平成23年度から「ぐんま絹遺産」の登録を行っている。絹遺産をネットワーク化することにより、世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」と各地に残る絹遺産の連携を推進し、本県の地域振興、観光及び文化的事業の新たな核にしようとするものである。また、今も群馬県に息づく養蚕、製糸、織物などの絹産業を、観光文化産業的な面から再生を図る一助とするものでもある。

令和5年度は新規登録がなく、「ぐんま絹遺産」は106件、県内25市町村に所在のままであった。

## 第 3 章

# 普及関連事業の実施状況

## 1. 世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」等研究奨励事業「絹ラボ」

世界遺産登録5周年を経て、若者や地元の人々にさらに愛される世界遺産とするため、若手研究者の育成と世界遺産の価値を次世代につなぐことを目的に、「富岡製糸場と絹産業遺産群」等をテーマに広く研究を募集し、その研究費用を助成する事業として令和2年度に「絹ラボ」を立ち上げた。

4年目となる令和5年度は、学生のみを対象とした「実践型プロジェクト部門」を新設し、従来からの「研究部門」と分けて募集を行った。県内外から11件の応募があり、審査の結果、助成事業の対象として7件の研究・プロジェクトを採択した。

これらの研究成果は、令和6年2月23日に開催した研究成果報告会で発表され、地元紙への掲載や「絹ラボ」ホームページにより広く県内外へ発信した。また、今後の研究に広く活用されるよう成果報告書を発行した。

### (1) 実施主体

シルクカントリー群馬プロジェクト実行委員会

(群馬県、富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町、富岡製糸場世界遺産伝道師協会、上毛新聞社)

### (2) 対象

- ・実践型プロジェクト部門（学生のみ）：高校生の団体、専門学校生、短大生、大学生、大学院生の個人または団体
- ・研究部門：個人または団体

### (3) 研究内容

「実践型プロジェクト部門」

- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」または本県の絹文化、絹産業をテーマに、県内の当該地域の観光や教育、町づくりなどの新たな振興策を提案するもの

「研究部門」

- ・「富岡製糸場と絹産業遺産群」に関する調査研究
- ・日本の生糸が世界に与えた影響に関する調査研究
- ・絹産業における、女性たちの活躍に関する調査研究
- ・国内外の絹文化、絹産業に関する調査研究



#### (4) 奨励金額

1件につき上限20万円

#### (5) 助成実績

11件（内訳は以下のとおり）

#### ○令和5年度「絹ラボ」研究助成対象者

区分	研究者・団体	研究テーマ
実践型 プロジェクト部門	日本大学商学部 木下征彦ゼミ	私たちは、富岡シルクを盛り上げ隊 －「よそ者・若者×地域」が生み出す創発効果－
	四ツ葉学園地域歴史研究会（伊勢崎市立四ツ葉学園中等教育学校）	若い世代への伊勢崎銘仙の伝承
研究部門	栗原正博（埼玉県立秩父農工科学高等学校教諭）	「富岡製糸場と絹産業遺産群」およびその関連施設における展示内容の調査と教育教材としての利用提案 －田島弥平旧宅を中心に－
	ト半 馨（東京農業大学大学院）	高山社分教場の造園空間の敷地計画と各構成要素の配置に関する研究
	伊勢崎銘仙の記憶を紡ぐ会	伊勢崎銘仙 －「織上手を嫁にもらえ」は本当か
	絹文化！お国ことば調査プロジェクト（群馬県立女子大学）	絹文化に関する語彙の歴史と地理的変異 －〈蚕〉を表す語を中心に－
	宮崎有敬研究会	宮崎有敬の生涯と業績 －宮崎勝美家文書を読み解く－

## 2. 群馬県及び各市町における普及関連事業

構成資産の所在する4市町においても様々な普及啓発事業が行われた。主な事業は以下のとおりである。

### (1) 群馬県

実施日	事業名
令和5年9月30日	第4回セカイト講演会「天恵の霊地 荒船風穴～その機能と役割～」

### (2) 富岡市

実施日	事業名
令和5年4月1日～令和6年3月31日	郷土館常設展示
令和5年8月26日～27日	セミナー・ワークショップ
令和5年10月13日～11月5日	富岡製糸場出土品特別展
令和5年12月9日～17日	市内出土品展

### (3) 伊勢崎市

実施日	事業名
毎月1回第3日曜日	田島弥平旧宅主屋1階上段の間の特別公開
令和5年6月18日	世界遺産登録9周年記念フェスタに伴う特別公開事業
令和5年11月19日	田島弥平旧宅 秋の普及公開

### (4) 藤岡市

実施日	事業名
令和6年2月5日～9日	高山社跡解説員研修

### (5) 下仁田町

実施日	事業名
	該当なし

### 3. 主な民間の活動

#### (1) 富岡製糸場と絹産業遺産群全体

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
各種普及広報活動	富岡製糸場世界遺産伝道師協会	通年	学校キャラバン（小中学校での解説及び座繰り体験）、イベント等での広報活動、講演会への講師派遣等を実施した。
花壇維持管理	群馬県立富岡実業高校 群馬県立富岡特別支援学校	R 5.6.15 R 5.12.11	世界遺産センター前の花壇にニチニチソウ、ビオラ等を定植した。

#### (2) 富岡製糸場関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
清掃ボランティア	富岡市職員共済会、まちづくり推進協議会、鉄道OB会富岡支部、市内企業等	第2土曜 第4土曜 第4日曜	場内除草を実施した。
花壇維持管理	群馬県立富岡実業高校	随時	場内の花壇にビオラやサルビアといった季節の花の定植及び維持管理を実施した。
繭玉飾り	甘楽富岡蚕桑研究会	R 6.1.6～14	繭の豊作への願い及び伝統行事の継承として場内に繭玉飾りを設置した。

#### (3) 田島弥平旧宅関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
ボランティアガイド活動等	ぐんま島村蚕種の会	R 5.4.1～ R 5.3.31	田島弥平旧宅及び周辺地域においてボランティアガイド、環境観察、普及啓発イベント等を実施した。
勉強会「伝統的建造物群保存地区制度」について学ぶ～重伝建選定を目指すにはどのような取り組みが必要か～	境島村登録文化財活用推進協議会	R 5.9.9	横浜国立大学の野敏教授、文化庁梅津調査官による講演を実施した。

#### (4) 高山社跡関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
高山社跡解説ボランティア	高山社顕彰会	R 5.5.22～12.19	高山社跡の解説ボランティアが市内の小中学校を対象とした「高山社学」の解説対応を行った。
座繰り体験教室	高山社顕彰会	① R 5.8.31 ② R 5.9.6 ③ R 5.9.7 ④ R 5.10.17 ⑤ R 5.11.7 ⑥ R 5.11.22	顕彰会会員による座繰りの組立方法や煮繭・糸挽きの方法までの体験教室を実施した。

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
高山社跡とカイコをめぐる絵	高山社顕彰会	R 5.10.14～29	市内の小学生から「高山社跡」や「カイコ」などをテーマとした絵画作品を募集し、優秀な作品については表彰のうえ高山社情報館において展示した。
高山社をモチーフとした作品展示会	高山社顕彰会	R 5.11.18～27	市内で活動している「文化協会」や「まゆ花の会」の協力を得て、高山社跡をモチーフとした様々な芸術作品をららん藤岡花の交流館において展示した。
「絹のまち藤岡」まち歩きの会	高山社顕彰会	R 5.12.2	藤岡市街地に残る絹市・絹宿などの絹に関わる痕跡を見学しながら市街地を散策し、藤岡市の絹に関わる歴史・文化について学習を深めた。

#### (5) 荒船風穴関係

活動名	活動団体	実施時期	活動概要
荒船風穴清掃作業	荒船風穴友の会	① R 5.4.28 ② R 5.7.7	荒船風穴見学者広場の除草、清掃を行った。
荒船風穴ガイド活動	群馬県立下仁田高校	① R 5.7.24 ② R 5.7.26 ③ R 5.7.28	下仁田高校生による見学者への現地解説を実施した。
下仁田町ネギ祭り	荒船風穴友の会	R 5.11.23	荒船風穴のパネル展示、チラシ、バッチなどを配布し PR 活動を行った。
荒船風穴安全祈願祭	荒船風穴友の会	R 6.3.26	令和6年度の見学再開を前に、史跡及び見学者の安全を祈願した。

## 4. 群馬県及び各市町からの発行物一覧、群馬県提供写真利用許諾件数

### (1) 群馬県

名 称	発行部数	概 要
令和4年度「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報	160	令和4年度における富岡製糸場と絹産業遺産群の事業記録等をまとめた冊子
世界遺産センター学校利用ガイド	1,500	小中学校の教職員を対象に、世界遺産センターの利用方法等について紹介するリーフレット
日本遺産リーフレット	1,500	日本遺産「かかあ天下ーぐんまの絹物語ー」について紹介するリーフレット
セカイトきぬ旅ノート	1,500	世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」周遊支援ワークブック

### (2) 富岡市

名 称	発行部数	概 要
見学のしおり（日本語）	100,000	
国宝を借りる（A4チラシ）	3,500	

### (3) 伊勢崎市

名 称	発行部数	概 要
田島弥平旧宅世界遺産パンフレット	15,000	田島弥平旧宅を紹介するパンフレット
まっぷるいせさき	27,000	伊勢崎市の観光情報を掲載しているパンフレット（冊子内で田島弥平旧宅を紹介）

### (4) 藤岡市

名 称	発行部数	概 要
該当なし		

### (5) 下仁田町

名 称	発行部数	概 要
荒船風穴リーフレット	12,000	荒船風穴へのアクセスや周辺の観光情報を紹介するリーフレット
神津牧場ソフトクリーム引換券無料プレゼント（チラシ）	20,000	荒船風穴への周遊を促す神津牧場ソフトクリーム引換券無料プレゼントを紹介するチラシ、ポスター
神津牧場ソフトクリーム引換券無料プレゼント（ポスター）	200	
広報しもにた	19,200	関連事業等を掲載（4, 5, 6, 7, 8, 10月）1回3,200部

### (6) 群馬県提供写真利用許諾件数

県内市町村…0件、県外自治体…0件、民間企業等（※）…24件

（※）民間企業等の利用目的の内訳

広告・広報…7件、書籍・雑誌…5件、報道…1件、その他…11件

## 第4章

# 群馬県立世界遺産センターの取組み

## 1. 群馬県立世界遺産センターの運営

展示室には解説員が常駐し、スポット解説や質問対応を実施した。また、ガイダンス映像と展示見学をセットにした見学プログラムを提供し、団体見学やグループ活動の受け入れを実施した。

### (1) 開館日

令和2年6月1日（月）

### (2) 来場者数 令和5年度

	入場者数	学校団体数	学校団体人数
4月	2,235人		
5月	3,530人	5団体	161人
6月	1,904人	7団体	218人
7月	2,330人		
8月	3,580人		
9月	2,691人	1団体	100人
10月	3,355人	11団体	422人
11月	3,064人	12団体	321人
12月	1,623人	4団体	193人
1月	1,794人	1団体	98人
2月	2,216人	1団体	9人
3月	2,677人	2団体	69人
合計	30,999人	44団体	1,591人

- ・最大来場者数：529人（5月4日）
- ・平均来場者数：90.9人（341日開館）
- ・令和6年3月18日（月）来館者 累計10万人達成

### (3) トピックス展示

展示期間	展示内容
3月1日～5月30日	蚕神 養蚕と信仰
6月1日～8月29日	南三社からみる製糸技術の変遷
8月31日～11月28日	風穴ってなあに
11月30日～4月23日	広がるシルクの活用法

## 2. 普及活動

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」の価値や魅力を伝えるだけでなく、各資産の活性化の一助となるべく、様々な普及活動及び広報を実施した。

### (1) 来場、周遊促進事業

実施時期	活動内容	備考
4月1日～（終期なし）	世界遺産周遊チャレンジ（デジタルスタンプラリー）	参加者65名 （令和5年4月1日～令和6年3月31日まで）
4月9日	イースターデザイン缶バッジカプセルトイ	100個
5月3日～7日	GW オリジナルブックマークプレゼント	各日200個 （5日間×200個＝計1,000個）
5月20日	フラワーデザインマグネットカプセルトイ	200個
6月1日	「セカイト」オープン3周年記念オリジナルグッズカプセルトイ	200個
6月25日、7月9日・23日、 8月27日、9月24日、 10月22日、11月26日、 12月24日、1月28日、 2月25日、3月24日	ワークショップ「まゆストラップ作り」 ※伝道師協会と共催	参加者396名
6月25日～8月31日	世界遺産登録9周年記念周遊チャレンジ（デジタルスタンプラリー）	参加者47名
7月7日	七夕デザイン缶バッジカプセルトイ	100個
7月16日・30日	ワークショップ「夏のグリーティングカード作り」	参加者60名
7月21日～9月30日	「桐生にもある日本遺産」デジタルスタンプラリー ※桐生市・日本遺産活用室と連携	参加者143名
8月6日・20日	ワークショップ「オリジナルブックカバー作り」	参加者56名
8月13日～16日	お盆デザイン缶バッジ or マグネットカプセルトイ	各日200個 （4日間×200個＝計800個）
9月3日・17日	ワークショップ「お月見まゆうさちゃん作り」	参加者98名
9月29日	お月見デザイン缶バッジカプセルトイ	100個
10月1日・15日・29日	ワークショップ「まゆオバケちゃん作り」	参加者112名
10月28日	群馬県民の日「まゆクラフト」プレゼント	230個
10月31日	ハロウィーンまゆストラップカプセルトイ	100個
11月5日・19日	ワークショップ「オーナメント作り」	参加者53名
11月15日	七五三デザインマグネットカプセルトイ	100個
12月3日・17日	ワークショップ「ホリデーカード作り」	参加者49名
12月24日・25日	クリスマスデザイン缶バッジカプセルトイ	各日100個 （2日間×100個＝計200個）

実施時期	活 動 内 容	備 考
1月1日～3日	お正月三が日運だめしまゆみくじカプセルトイ	各日100個 (3日間×100個 =計300個)
1月7日・21日、 2月4日・18日	ワークショップ「ブックマーク作り」	参加者103名
2月13日	バレンタインまゆストラップカプセルトイ	100個
3月3日	ひなまつり絹布の缶バッジカプセルトイ	100個
3月3日・17日	ワークショップ「ミニクイズラリーに挑戦で卒業証書のプレゼント」	参加者55名

### 3. 学校教育連携事業

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」をはじめとした本県における絹遺産の価値や魅力を次世代へ継承するため、各種取組を実施した。

#### (1) 主な活動

学校向け学習プログラム	受入校数：44校 延べ1,591人 世界遺産としての価値を伝えるため、ガイダンス映像視聴や展示解説、質問対応等を実施
学校利用ガイド作成・配布	作成部数：1,500部 県内全小中学校・特別支援学校及び埼玉県熊谷市、本庄市、深谷市、寄居町、美里町、上里町、神川町の全公立小中学校へ配布
職員による出前授業	訪問授業：1校（学年講話） オンライン授業：1校3クラス
学校キャラバン (富岡製糸場世界遺産伝道師協会への委託事業)	実施校数：22校（参加人数：延べ987人） 県内小中学校に出向き、世界遺産に関する講義や座繰り体験等を実施

#### (2) その他活動

- ・教育委員会及び教育事務所等への広報、総合教育センター初任者研修や、地域学校協働活動地区別推進会議等で学習プログラム紹介
  - ・群馬県立富岡実業高校の生徒による「繭、桑を使ったフラワーアレンジメント展示」
  - ・群馬県立富岡実業高校及び群馬県立富岡特別支援学校の生徒によるセカイト前花壇整備
  - ・群馬県立富岡高校及び群馬県立藤岡中央高校の生徒と共同制作による「まち動画」の公開
- ※ tsulunos で動画配信

## 4. 調査研究

世界遺産「富岡製糸場と絹産業遺産群」における調査研究の総合的な拠点となるよう、資産相互の連携や県内外（国内外）の絹遺産との関係性等について、基礎資料を収集・調査するとともに研究を行った。

また、研究紀要の発行や研究会・講演会等の開催により、調査研究成果の公開及び発信を行った。

### (1) セカイト研究会

県、4市町（富岡市、伊勢崎市、藤岡市、下仁田町）、県内大学、研究機関の研究者による研究会を実施した。

・年4回開催（5月30日、8月28日、11月27日、3月11日）

### (2) セカイトアーカイブ事業

養蚕や絹産業に関わる人々が少なくなっていくなか、貴重な史資料が滅失や散逸する恐れがあるため、養蚕・絹に関する書籍・文書などの情報を収集し、検索可能な形で整理するデータベース化を昨年度に引き続き実施した。

### (3) セカイト講演会

開催日：令和5年9月30日（土）

※群馬県立世界遺産センター HP 上で動画配信

講演内容：「天恵の霊地 荒船風穴～その機能と役割～」

中島 秀規（群馬県立世界遺産センター 研究員）	夏秋蚕を支えた日本の風穴
澤田 結基（福山市立大学都市経営学部教授）	風穴はおもしろい！ －風穴の仕組みと活用、日本と世界の風穴－
秋池 武（下仁田町歴史館 館長）	荒船風穴蚕種貯蔵所の真価
石井 寛治（東京大学名誉教授・群馬県立世界遺産センター名誉顧問）	まとめ

### (4) セカイト講座 ※セカイト研究員による講座

12月10日	今井 洋平	南三社の生糸生産
1月21日	中島 秀規	養蚕業を支えた日本の風穴
2月4日	春山 秀幸	4代目 田島弥平の蚕種製造

#### (5) 「群馬県立世界遺産センター紀要」の発行

調査研究成果の蓄積及び情報発信のため、研究紀要を作成し発行した。

・第4号(2024) 令和6年3月31日発行 発行部数：300部

※県内外の研究機関等へ配布

## 県及び各市町の組織・体制（R5.4.1現在）

### （1）群馬県

#### 《文化振興課歴史文化遺産室》



係長以下 5 人（世界遺産の保存整備、世界遺産・日本遺産・ぐんま絹遺産の活用及び普及啓発、埴輪王国ぐんま周知、上野三碑普及啓発等）  
（内世界遺産担当 2 人）

#### 《県立世界遺産センター》



係長以下 7 人（世界遺産センター運営、普及広報・調査研究）  
（内 2 名富岡市・藤岡市から派遣）  
会計年度任用職員 5 人（世界遺産センター解説員）

#### 《文化財保護課》



係長以下 8 人（構成資産保存活用に係る指導助言、補助事業に係る事務）  
（内世界遺産担当 2 人）

係長以下 6 人（世界遺産等の埋蔵文化財調査に係る調整）

### （2）富岡市

#### 《富岡製糸場課》



係長以下 5 人（富岡製糸場の企画・広報、国際戦略、視察・メディア対応等）

係長以下 7 人（富岡製糸場の維持管理、保存修理、整備活用等）

#### 《富岡製糸場総合研究センター》



係長代理以下 5 人（富岡製糸場の調査研究、資料の収集・保管等）  
係長は、所長兼務

#### 《文化財保護課》



係長以下 4 人（富岡製糸場保護、発掘調査、現状変更業務等）

### （3）伊勢崎市

#### 《文化財保護課》



係長以下 3 人（内 1 人兼任）（世界遺産及び周辺の蚕種製造民家の保存整備活用等）  
会計年度任用職員等 6 人（田島弥平旧宅案内所職員）

### （4）藤岡市

#### 《文化財保護課》



係長以下 4 人（世界遺産の保存整備活用、普及広報、民間団体連携）  
会計年度任用職員 7 名（高山社跡解説員）

### （5）下仁田町

#### 《教育課》



係長以下 4 人（世界遺産担当兼任）（荒船風穴の保存整備活用、普及広報、民間団体連携）  
会計年度任用職員 5 人（内荒船風穴解説員 3 人）

館長（非常勤） 1 人（世界遺産担当兼任）

## 利用案内 (R 6.4.1 現在)

### 富岡製糸場

- [場所] 富岡市富岡1-1  
[交通] 公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩約15分  
車／上信越自動車道富岡I.C. から各市営駐車場まで約10分、  
有料駐車場から徒歩約10分、無料駐車場から徒歩約20分  
[時間] 9時～17時(受付は16時30分まで)  
[休日] 12月29日～31日※点検・整備等で臨時休場となる場合があります。  
[料金] 大人1,000円、高校・大学生(要学生証)250円、小・中学生150円(富岡市民は無料)  
[見学ガイド]  
定時解説(約40分)あり  
(有料1人1回200円)  
[問合せ先]  
富岡製糸場総合案内所  
TEL 0274-67-0075  
※本書記載事項に関する問い合わせ先  
富岡市富岡製糸場課  
TEL 0274-64-0005  
[ホームページ]  
<http://www.tomioka-silk.jp/hp/index.html>

### 田島弥平旧宅

- [場所] 伊勢崎市境島村2243  
[交通] 公共交通機関／JR高崎線本庄駅からタクシー約20分、東武伊勢崎線境町駅からタクシー約15分、JR上越新幹線本庄早稲田駅からタクシー約25分  
車／関越自動車道本庄児玉I.C. から駐車場まで約20分、駐車場から徒歩約10分  
[時間] 9時～16時  
※個人宅で現在も居住しているため、見学の際はご配慮ください。見学範囲は庭及び桑場1階。その他の建物内部は原則非公開。  
※第3日曜日に主屋1階上段の間を公開しています。  
[休日] 12月29日～1月3日  
[料金] 無料  
[見学ガイド]  
解説員が常駐(無料) 団体見学の際は田島弥平旧宅案内所へ要予約  
[問合せ先]  
田島弥平旧宅案内所  
TEL 0270-61-5924  
伊勢崎市教育委員会文化財保護課  
TEL 0270-75-6672  
[ホームページ]  
<http://www.city.isesaki.lg.jp>

### 高山社跡

- [場所] 藤岡市高山237  
[交通] 公共交通機関／JR高崎線新町駅またはJR八高線群馬藤岡駅からバス約35分、JR八高線群馬藤岡駅からタクシー約20分(観光タクシーあり)  
車／上信越自動車道藤岡I.C. から約20分、駐車場から徒歩約5分  
[時間] 9時～17時  
(高山社情報館では、高山社に関する資料を展示しているのでご利用ください。)  
[休日] 12月28日～1月4日  
[料金] 大人500円(高校生以下、藤岡市在住者、障害者の方は無料)  
[見学ガイド]  
解説員が常駐(無料)  
[問合せ先]  
高山社情報館  
TEL 0274-23-7703  
藤岡市教育委員会文化財保護課  
TEL 0274-23-5997  
[ホームページ]  
<http://www.city.fujioka.gunma.jp/>

### 荒船風穴

- [場所] 下仁田町南野牧甲10690-2外  
[交通] 公共交通機関／上信電鉄下仁田駅からタクシー約30分(観光タクシー)  
車／上信越自動車道下仁田I.C. から約50分、駐車場から徒歩約20分  
[注意] 急勾配な山道のため、動きやすい服装でお越しください。  
[時間] 9時30分～16時(受付は15時30分まで)  
[休日] 12月～3月は冬季閉鎖  
(下仁田町歴史館では、荒船風穴に関する資料を展示しているのでご利用ください。)  
[料金] 大人500円(高校生以下、下仁田町在住者、障害者の方は無料)  
[見学ガイド]  
解説員が常駐(無料)  
[問合せ先]  
下仁田町歴史館  
TEL 0274-82-5345  
[ホームページ]  
<https://www.town.shimonita.lg.jp/>

## 利用案内（R 6.4.1 現在）

### 群馬県立世界遺産センター

#### 「世界を変える生糸いとの力」研究所

[場所] 富岡市富岡1450-1

[交通] 公共交通機関／上信電鉄上州富岡駅から徒歩  
1分  
車／上信越自動車道富岡 I.C. から富岡駅東  
無料駐車場まで約10分、無料駐車場から徒  
歩約3分

[時間] 9時～17時

[休日] 3月～11月 毎月最終水曜日

12月～2月 毎週水曜日

12月29日～31日

[料金] 無料

[見学ガイド]

解説員が常駐（無料）

[問合せ先]

群馬県立世界遺産センター

TEL 0274-67-7821

[ホームページ]

<https://worldheritage.pref.gunma.jp/whc/>

## 令和5年度 「富岡製糸場と絹産業遺産群」年報

---

編集・発行 群馬県地域創生部文化振興課  
〒371-8570 群馬県前橋市大手町1-1-1

発行日 令和7年3月

製 作 朝日印刷工業株式会社